

日本原燃株式会社（濃縮事業部、埋設事業部）原子力防災訓練計画 事前説明（5週間前説明）について

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>全般</p> <p>○訓練計画【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画上の今年度訓練の位置付け</li> <li>・今年度の訓練目的、達成目標</li> <li>・主な検証項目</li> <li>・実施・評価体制</li> <li>・訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準</li> </ul> <p>訓練シナリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント運転状態、事象想定、スキップの有無等</li> <li>・TV 会議システムを使用する場合は、TV 会議システム使用不能状態の場面設定の取り入れを検討すること</li> <li>・その他</li> <li>－COP 様式（準備している場合）</li> <li>－緊対所レイアウト図、要員の役割分担</li> <li>－ERC 対応者への情報フロー図</li> <li>－ERC 対応ブース配席図、役割分担</li> </ul> <p>－ERC 書架内の資料整備状況（資料一覧）</p> <p>○評価指標のうち、主に[P]、[D]に関する内容【資料】</p> <p>⇒詳細は以下参照</p> <p>○事業者とERC の訓練コントロール間の調整</p> <p>⇒詳細は以下参照</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】となっているものは面談資料として提示頂くもの（訓練シナリオ（非提示型の場合）、個人名連絡先など、必要な箇所のマスキング処理を確認する。）</li> <li>・COP:共通状況図のこと。事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況について認識の共有のために作成される図表であって、各社で様式や名称は異なる。</li> </ul>	<p>○「中期計画上の今年度訓練の位置付け」について、資料1に示す。</p> <p>○「今年度の訓練目的、達成目標」、「主な検証項目」、「実施・評価体制」、「訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準」、「訓練シナリオ」を、資料2に示す。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－「COPの様式」を資料4に示す。</li> <li>－「緊対所レイアウト図、要員の役割分担」を資料3に示す。</li> <li>「ERC 対応者への情報フロー図」、「ERC 対応ブース配席図、役割分担」は、指標1にて説明。</li> <li>－「ERC 書架内の資料整備状況(資料一覧)」を、資料5に示す。</li> </ul>	<p>左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>	<p>左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>
	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-1：濃縮事業部における訓練に係る中長期計画（2021年度）</li> <li>・資料2-1：2021年度 濃縮事業部 防災訓練実施計画書(案)</li> <li>・資料3-1：緊急時対策所 レイアウト図</li> <li>・資料4-1：COP資料一覧</li> <li>・資料5-1：ERC 配備資料一覧</li> </ul>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-2：埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画（2021年度～2024年度）</li> <li>・資料2-2：2021年度 埋設事業部 防災訓練実施計画書(案)</li> <li>・資料3-2：緊急時対策所 レイアウト図</li> <li>・資料4-2：COP資料一覧</li> <li>・資料5-2：ERC 配備資料一覧</li> </ul>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1-3：全社対策本部原子力防災訓練中期計画（案）</li> <li>資料2-3：2021年度 全社対策本部原子力防災訓練（総合訓練）実施計画書（その2）（案）</li> <li>資料3-3：全社対策本部室 レイアウト図</li> </ul>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標1：緊急時対策所とERCプラント班との情報共有 [P]</p> <p>○評価指標1の「評価対象の考え方など」に記述している、「事故・プラントの状況（現在のプラントの状況、新たな事象の発生、線量の状況、負傷者の発生等の発生イベント、現況）、進展予測と事故収束対応（事故の進展予測及びこれを踏まえた事故収束に向けた対応戦略（対応策））、戦略の進捗状況（事故収束に向けた対応戦略（対応策）の進捗状況）に係る説明」、並びに「事象の進展や事故収束戦略・予測進展の変更といった状況変化時や、適時に施設全体の現況について説明」を行うための体制・運用を確認する</p> <p>○前回訓練を踏まえ、情報共有に係る体制・運用、情報提供のための説明資料等について見直した点、また、確実な情報共有を行うために取り組んだ点（マニュアル改善、教育・訓練等）を確認する</p> <p>○事業者が定めるリエゾンの役割を確認する ※訓練時にリエゾンを派遣するかは事業者の訓練計画に任せる</p> <p>○COPの活用（準備している場合） COP様式を確認する</p>	<p>○事務所、本店（即応センター）、ERCの3拠点間の情報フローについて、資料6～7に示す。</p> <p>○上記同様</p> <p>○右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>○COPの活用 ・事故・プラントの状況に変化が生じた時 ・戦略を作成するとき、戦略に変更が生じた時 ※ERC備付け資料として、原子力防災訓練実施前に資料の改正および配備を予定。</p> <p>&lt;説明資料&gt; ・資料6：ERCプラント班との情報共有における全体概要情報フロー ・資料7-1：ERCとの情報共有における情報フロー</p>	<p>○事務所、本店（即応センター）、ERCの3拠点間の情報フローについて、資料6～7に示す。</p> <p>○上記同様</p> <p>○右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p> <p>&lt;説明資料&gt; ・資料6：ERCプラント班との情報共有における全体概要情報フロー ・資料7-2：ERCとの情報共有における情報フロー</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」、「廃棄物埋設施設（埋設事業部）」欄と同様</p> <p>○上記同様</p> <p>○リエゾンの役割 ・ERCプラント班とERC対応者間の情報共有の支援 ・ERCプラント班からの質問事項への回答 ・ERCリエゾンの活動内容 ▶訓練開始前 ・各種資料配布（初期配布資料、災害対応資料集、訓練前提条件、事前状況付与） ▶訓練開始後 ・質疑応答対応 ・事故対応状況以外の質問事項対応 ・資料配布（COP、EAL基準判断表、プラント情報（MP含む）） ・ERC広報班との情報共有（プレス文、記者会見、HP公開等）</p> <p>○COPの活用 —</p> <p>&lt;説明資料&gt; ・資料6：ERCプラント班との情報共有における全体概要情報フロー</p>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標 2：確実な通報・連絡の実施 [D]</p> <p>(①FAX 等の通報が15分以内)</p> <p>○通報に使用する通信機器の代替手段を確認する</p> <p>(②通報文の正確性)</p> <p>○通報 FAX 送信前の通報文チェック体制、通報文に誤記等があった際の対応を確認する</p> <p>○発出した EAL が非該当となった場合の対応を確認する</p> <p>(③EAL 判断根拠の説明)</p> <p>○前回訓練を踏まえ、EAL 判断根拠の説明について、確実な説明を行うために取り組んだ点（マニュアル改善、教育・訓練等）を確認する</p> <p>(④第 25 条報告)</p> <p>○25 条報告の発出タイミングの考え方を確認する</p> <p>○訓練事務局側が想定する、今回訓練シナリオ上の 25 条報告のタイミング、報告内容（発生事象と対応の概要、プラント状況、放出見通し/状況、モニタ・気象情報など）、回数（訓練シナリオ中の記載されているか）を確認する</p>	<p>(①FAX 等の通報が15分以内)</p> <p>○一般回線、衛星携帯電話およびFAX（自主配備）で行う。</p> <p>(②通報文の正確性)</p> <p>○通報文作成後、作成者と確認者（2名）が「通報文作成確認チェックシート」を用いて、記載内容の誤記や記載漏れを相互確認する。また、本部員により通報文の内容確認を受ける。</p> <p>○原子力防災管理者が、EAL 格下げまたは取り消しの判断を行った場合は、その時点に対応する通報文にて格下げまたは取り消しする。その際、EAL を明示し、その根拠を記載し、通報連絡する。</p> <p>なお、その時点に対応する通報文とは、警戒事象発生以降は「警戒事態該当事象発生後の経過連絡」様式を、特定事象発生以降は「応急措置の概要」様式のことをいう。</p> <p>(③EAL 判断根拠の説明)</p> <p>○EAL の判断フローに基づいて判断する。EAL の判断フローについて、資料 8 に示す。</p> <p>(④第 25 条報告)</p> <p>○特定事象発生以降、前回通報から 30 分を目安に通報を実施する。また、事象進展、応急対策の実施状況に変化がなくても、事象状況および応急対策状況の現状報告として、同様の間隔で通報を実施すること。</p> <p>○2 通報告予定 （報告タイミングは資料 2-1 参照）</p> <p>&lt;説明資料&gt; ・資料 8-1：EAL 判断フロー</p>	<p>(①FAX 等の通報が15分以内)</p> <p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p> <p>(②通報文の正確性)</p> <p>○通報文作成確認者(2名)が「通報文作成確認チェックシート」を用いて、記載内容の誤記や記載漏れを相互確認する。また、本部員により通報文の内容確認を受ける。</p> <p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p> <p>(③EAL 判断根拠の説明)</p> <p>○EAL の判断フローに基づいて判断する。EAL の判断フローについて、資料 8 に示す。</p> <p>(④第 25 条報告)</p> <p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p> <p>○2 通報告予定 （報告タイミングは資料 2-2 参照）</p> <p>&lt;説明資料&gt; ・資料 8-2：EAL 判断フロー</p>	<p>(①FAX 等の通報が15分以内)</p> <p>—</p> <p>(②通報文の正確性)</p> <p>—</p> <p>(③EAL 判断根拠の説明)</p> <p>—</p> <p>(④第 25 条報告)</p> <p>—</p> <p>&lt;説明資料&gt; —</p>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標 3：通信機器の操作 [D]</p> <p>○通常使用する ERC との通信機器に支障が発生した場合の代替手段及び移行操作の説明並びに前回訓練を踏まえたマニュアル改善、教育・訓練等の実績を確認する</p> <p>&lt;TV 会議システムを使用する場合&gt;</p> <p>・訓練時の TV 会議システム使用不能状態の場面設定を確認する</p> <p>&lt;TV 会議システムを使用しない場合&gt;</p> <p>・訓練時に通信不通などのマルファンクション実施予定の有無を確認する</p>	<p>○右記「全社対策本部」欄と同様</p>	<p>○右記「全社対策本部」欄と同様</p>	<p>統合原子力防災ネットワークを用いて ERC との情報共有を行うことから、TV 会議使用不能状態は訓練上想定しない。</p>
	<説明資料> —	<説明資料> —	<説明資料> —
<p>指標 4：中期計画の見直し [P]</p> <p>○見直し状況、見直し内容、今年度訓練実施計画の位置づけを確認する</p> <p>○見直し後の中期計画を確認する</p> <p>○前回訓練の訓練報告書提出以降から次年度訓練まで対応実績・スケジュール（作業フローなど）について、以下の PDCA の観点で概要を確認する</p> <p>【観点】前回訓練の訓練報告書提出から今回訓練までと今回の訓練を踏まえた[C]及び[A]、中期計画及び原子力防災業務計画への反映</p> <p>[P]の時期</p> <p>[C]訓練報告書のとりまとめ時期</p> <p>[A]対策を講じる時期</p> <p>— 具体的な対策の検討、マニュアル等へ反映、周知・教育/訓練など（前回の訓練実施結果報告書に掲げた各課題についての対応内容、スケジュール）</p> <p>— 原子力事業者防災業務計画への反映の検討事項・時期（定期見直し含む）</p> <p>[P]中期計画等の見直し事項・時期、次年度訓練計画立案時期</p> <p>○前回訓練実施後の面談時に確認した PDCA 計画を再度確認する</p>	<p>○当社の中期対応方針について、資料 9 に示す。</p> <p>○中期計画について、資料 1 に示す。</p> <p>○訓練実施後の改善スケジュールについて、資料 10 に示す。</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>
	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 9：日本原燃原子力防災訓練に係る中期対応方針</li> <li>・資料 1-1：濃縮事業部における訓練に係る中長期計画（2021 年度）</li> <li>・資料 10-1：令和 2 年度 防災訓練実施後の改善スケジュール（濃縮事業部）</li> </ul>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 9：日本原燃原子力防災訓練に係る中期対応方針</li> <li>・資料 1-2：埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画（2021 年度～2024 年度）</li> <li>・資料 10-2：令和 2 年度 防災訓練実施後の改善スケジュール（埋設事業部）</li> </ul>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 9：日本原燃原子力防災訓練に係る中期対応方針</li> <li>・資料 1-3：全社対策本部 原子力防災訓練中期計画（案）</li> <li>・資料 10-3：令和 2 年度 防災訓練実施後の改善スケジュール（全社対策本部）</li> </ul>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標 5：前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定 [P]</p> <p>○訓練実施計画が、前回訓練の訓練結果を踏まえ、問題・課題に対する改善策が有効に機能するものであるか検証できる計画（訓練実施項目、訓練シナリオ等）となっていることを確認する</p> <p>○訓練時における当該改善策の有効性の評価・確認の方法（例えば、訓練評価者が使用する評価チェックリスト（改善策の有効性を検証するための評価項目、評価基準などが明確になっているもの）が作成されていることなど）を確認する</p> <p>○課題の検証につき、社内自主訓練・要素訓練で対応している場合は、その検証結果を確認する</p> <p>○今年度の訓練で課題検証を行わない場合にあっては、その理由と検証時期の説明、中期計画等への反映状況を確認する。また、今年度の訓練で課題検証を行わずとも緊急時対応に直ちに問題は無いことを確認する</p>	<p>○前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定について、資料 1 1 に示す。</p>	<p>○前回訓練の訓練課題なし</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>
	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <p>・資料 1 1-1：前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定（濃縮事業部）</p>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <p>—</p>	<p>&lt;説明資料&gt;</p> <p>・資料 1 1-2：前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定（全社対策本部）</p>
<p>指標 6：シナリオ非提示型訓練の実施状況 [P]</p> <p>○開示する範囲、程度（一部開示の場合、誰に／何を開示するのか具体的に記載）及びその設定理由を確認する</p>	<p>○事業部対策本部要員および全社対策本部要員に対してシナリオ非提示で実施</p> <p>○シナリオ作成の検討に携わった者は、訓練コントロールとして訓練に参加し、プレーヤとして活動は行わない。</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>	<p>○左記「加工施設（濃縮事業部）」欄と同様</p>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標 7：シナリオの多様化・難度 [P]</p> <p>○訓練シナリオのアピールポイントを確認する</p> <p>○シナリオ多様化に関し、付与する場面設定を確認する</p> <p>○訓練プレーヤへ難度の高い課題をどのように与えているかを確認する</p> <p>例）・時間：要員が少ない時間帯  ・場所：対応が困難となる場所  ・気象：通常訓練で想定しない天候や組み合わせなど  ・体制：キーとなる要員の欠員  ・資機材：手順外の資機材の活用  ・計器故障：EAL 判断計器または重要計器故障、これに伴う代替パラメータでの確認  ・人為的ミス：操作や報告のミス  ・OFC 対応：要員派遣に加え、オンサイトと連携した活動  ・判断分岐：マルチエンディング、途中の判断分岐  ・その他：複数の汚染傷病者など</p>	<p>○アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃埋事業所内同時発災</li> <li>・被災者の複数発生時対応の検証</li> </ul> <p>○場面設定など</p>	<p>○アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃埋事業所内同時発災</li> </ul> <p>○場面設定など</p>	<p>○アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃埋事業所内同時発災</li> <li>・上記に伴う ERC との情報共有を含む各施設情報整理</li> </ul> <p>○場面設定など</p>
	シナリオ非提示のため非公開		
<p>指標 8：広報活動 [D]</p> <p>○評価要素①～④それぞれについて、対応、参加等の予定を確認する</p>	右記「全社対策本部」欄と同様	右記「全社対策本部」欄と同様	<p>評価要素①：ERC 広報班と連動したプレス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社対策本部要員より 1 名派遣し、ERC 広報班と連動したプレス対応を実施</li> </ul> <p>評価要素②：記者等の社外プレーヤの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社外プレーヤ 1～2 名程度の参加予定</li> </ul> <p>評価要素③：模擬記者会見の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記②のプレーヤを含めた模擬記者会見の実施</li> </ul> <p>評価要素④：情報発信ツールを使った外部への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬ホームページへの掲載を想定し、社内データベースへの掲載を実施</li> </ul>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標9：後方支援活動【D】</p> <p>○評価要素①、②それぞれについて、具体的活動予定（特に、実動で実施する範囲を明確にすること）を確認する</p> <p>○一部を要素訓練で実動し、残りを総合訓練で実動するなど、複数の訓練を組み合わせて一連の後方支援活動の訓練を実施する場合は、その内容を確認する</p>	右記「全社対策本部」欄と同様	右記「全社対策本部」欄と同様	<p>評価要素①：原子力事業者間の支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力事業者間協力協定に基づく幹事電力への支援要請</li> <li>・青森県内原子力事業者安全推進協定に基づく幹事会社への支援要請</li> <li>・全事業部合同の要素訓練として、2021年下期（時期未定）に青森県内事業者を招集した支援拠点訓練を実施予定</li> </ul> <p>評価要素②：後方支援拠点との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策支援拠点の設置および全社対策本部との通信確立</li> <li>・災害対策支援拠点におけるエアレントの設置（実動訓練）を実施</li> </ul> <p>【参考】</p> <p>原子力緊急事態支援組織との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力緊急事態支援組織への支援要請</li> <li>・全事業部合同の要素訓練として、2021年度下期（時期は調整中）に遠隔操作資機材の操作訓練を実施予定</li> <li>・原子力緊急事態支援組織でのロボット操作訓練に2021年下期（時期は調整中）に参加予定</li> </ul>

	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
<p>指標10：訓練への視察など〔A〕</p> <p>(①他原子力事業者への視察)</p> <p>○他事業者への視察実績、視察計画を確認する</p> <p>(②自社訓練の視察受け入れ)</p> <p>○自社訓練の視察受け入れ計画（即応C、緊対所それぞれの視察受け入れ可能人数、募集締め切り日、募集担当者の氏名・連絡先）を確認する</p> <p>(③ピアレビュー等の受入れ)</p> <p>○ピアレビュー等の受入れ計画（受入れ者の属性、レビュー内容等）を確認する</p> <p>(④ERCへの訓練視察)</p> <p>○ERCへの訓練視察の実績、視察計画を確認する</p>	<p>(①他原子力事業者への視察)</p> <p>○他原子力事業者の訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施の他原子力事業者のその他訓練の視察を実施している。 【原子力事業者防災訓練】 ・2021/9/7：JAEA 人形峠(2名)</p> <p>(②自社訓練の視察受け入れ)</p> <p>右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>(③ピアレビュー等の受入れ)</p> <p>右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>(④ERCへの訓練視察)</p> <p>○ERCへの訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施のERCへの訓練の視察を実施している。(上記①同様)</p>	<p>(①他原子力事業者への視察)</p> <p>○他原子力事業者の訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施の他原子力事業者のその他訓練の視察を実施している。 【原子力事業者防災訓練】 ・2021/10/15：JAEA ふげん(1名)</p> <p>(②自社訓練の視察受け入れ)</p> <p>右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>(③ピアレビュー等の受入れ)</p> <p>右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>(④ERCへの訓練視察)</p> <p>○ERCへの訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施のERCへの訓練の視察を実施している。(上記①同様)</p>	<p>(①他原子力事業者への視察)</p> <p>○他原子力事業者の訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施の他原子力事業者のその他訓練の視察を実施している。 【原子力事業者防災訓練】 ・2021/9/7：JAEA 人形峠(1名) ・2021/9/10：東電HD(福島第一、福島第二(1名)) ・2021/9/24：関電(高浜(1名)) ・2021/10/1：九電(玄海(2名))</p> <p>(②自社訓練の視察受け入れ)</p> <p>○自社訓練の視察受け入れ計画として、青森県内の原子力事業者に対して募集予定 ・緊対所の視察受け入れ可能人数：5名 ・募集締め切り日：2021年12月7日(訓練2週間前)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>個人名のため非公開</p> </div> <p>(③ピアレビュー等の受入れ)</p> <p>・今年度、ピアレビューの受入れ予定なし ・他原子力事業者（青森県内事業者）を訓練評価者として受入れ予定</p> <p>(④ERCへの訓練視察)</p> <p>○ERCへの訓練の視察として、ERC対応の視察(TV会議)を計画している。 なお、今年度実施のERCへの訓練の視察を実施している。(上記①同様)</p>
<p>指標11：訓練結果の自己評価・分析</p>	—	—	—
<p>指標12：訓練参加率</p> <p>○参加予定人数（うち、リエゾン人数、コントローラ人数）を確認する</p> <p>○評価者予定人数を確認する</p>	<p>○濃縮事業部対策本部(即応センター含)</p> <p>参加予定人数： 約130人(うち、コントローラ8人予定)</p> <p>○リエゾン予定人数： 右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>○評価者予定人数： ・濃縮事業部対策本部：約7名予定 (緊対所、現場の2地点に評価者を配置し、評価予定)</p>	<p>○埋設事業部対策本部(即応センター含)</p> <p>参加予定人数： 約100人(コントローラ調整中)</p> <p>○リエゾン予定人数： 右記「全社対策本部」欄と同様</p> <p>○評価者予定人数： ・埋設事業部対策本部：約4名予定 (緊対所、現場の2地点に評価者を配置し、評価予定)</p>	<p>○全社対策本部(即応センター含)</p> <p>参加予定人数： 約100人(うち、コントローラ6人)</p> <p>○リエゾン予定人数：7名予定</p> <p>○評価者予定人数： ・全社対策本部：5名予定 (全社対策本部室、即応センター2(H1)、記者会見室、後方支援拠点、OFCに配置し評価予定) ・上記の他、他原子力事業者の評価者を配置予定</p>



	加工施設（濃縮事業部）	廃棄物埋設施設（埋設事業部）	本社（全社対策本部）
備考：10 条確認会議等の対応 ○10 条確認会議、15 条認定会議の事業者側対応予定者の職位・氏名を確認する	○右記「全社対策本部」欄と同様	○右記「全社対策本部」欄と同様	○10 条確認会議、15 条確認会議の対応 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">個人名のため非公開</div>
備考：現場実動訓練の実施 ○現場実動訓練の実施内容  ○事故シナリオに基づき実施する緊急時対策所の活動との連携を確認する	○現場実動訓練の実施内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">シナリオ非提示のため非公開</div> ○事故シナリオに基づき実施する緊急時対策所の活動との連携に係る説明 ・発災現場から緊急時対策所へ状況報告する。 ・発災現場からの状況報告を基に、プリーフィングを適時実施する。 ・事象収束に必要な戦略などを目標設定会議にて決定し、発災現場活動を実施する。	○現場実動訓練の実施内容  ○事故シナリオに基づき実施する緊急時対策所の活動との連携に係る説明 ・発災現場から緊急時対策所への状況報告をもとに、プリーフィングを適時実施する。 ・事象収束に必要な戦略が決まり次第、原子力防災管理者の判断により発災現場で活動を実施する。	○現場実動訓練の実施内容 ・後方支援拠点における通信設備立上げおよびテント設営  ○事故シナリオに基づき実施する緊急時対策所の活動との連携に係る説明 ・後方支援拠点から全社対策本部への状況報告
【補足】事業者と ERC の訓練コントローラ間の調整事項 ○ERC 広報班との運動の有無 ○リエソンの人数、入館時刻、訓練参加タイミング  ○訓練終了のタイミング、その後の振り返りの要否  ○事前通信確認実施の要否 ○ERC と連携するコントローラの所属、氏名、連絡先 ○ERC 対応者の職位、氏名  ○訓練時、メールを利用した ERC プラント班への資料提供の実施の有無	○ERC 広報班との運動での訓練を実施する。 ○【プラント班】 ・人数：東京支社 5 名予定（内、2 名見学者）、入館時刻：9 時 20 分 ・訓練参加タイミング：地震発生に伴い ERC プラント班が立ち上がったタイミングから 20 分後（地震発生後 30 分後） 【広報班】 ・人数：東京支社 2 名予定、入館時刻：9 時 20 分 ・訓練参加タイミング：地震発生に伴い ERC プラント班が立ち上がったタイミングから 20 分後（地震発生後 30 分後） ○（第 1 部）：現場の事象収束後に発信する、原災法 AL 経過連絡を ERC プラント班に説明したタイミングで訓練を終了する。 （第 2 部）：現場の事象収束後に発信する、原災法第 25 条報告を ERC プラント班に説明したタイミングで訓練を終了する。 上記いずれも、その後に訓練振り返りの反省会を実施する。 ○即応センター（H1）の通信確認は不要。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">個人名のため非公開</div> ○基本的には ERC リエソンを通して資料提供を行うため、メールを利用した ERC プラント班への資料提供はないものと考えている。		

2021年度 濃縮事業部  
防災訓練実施計画書  
(案)

日本原燃株式会社

濃 縮 事 業 部

## 2021年度 加工施設 防災訓練実施計画書（第1部）

## 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「濃縮事業部における訓練に係る中長期計画（2021年度）」に基づき、廃棄物埋設施設の同時発災および現実的なシナリオ想定のもとで、情報発信能力および緊急時対応能力について確認する。

なお、本訓練は、「核燃料物質加工事業変更許可申請書（2017年5月17日許可取得）」記載の重大事故に至るおそれのある事故を想定事象とし、新設予定の設備・機器（新規制基準対応の追加安全対策）は、存在するものとして実施する。

具体的な達成目標および検証項目は以下のとおり。

## (1) 「ERCプラント班との情報共有を実施できること」

達成目標：ERC対応ブースに対して情報共有ツールを用いて、適宜情報共有できること

検証項目：①情報フローの内容を要員が理解し、その役割どおり対応できること

②ERC対応ブースへ提供する情報（事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略および戦略の進捗状況）は、リアルタイムに行うこと

③ERC対応ブースへ提供する資料（COP（事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略およびその進捗状況）、ERC備付け資料等）は説明しやすい内容とし、当該資料を用いて説明できること

## (2) 「現場と緊急時対策所が連携できること」

達成目標：緊急時対応が適切に対応できること

検証項目：警戒事象、特定事象などの発生を想定した実働訓練を実施し、緊急時対策所との連携、予め定めた時間、要員、資機材などを使用して、手順どおり実施できること

## 2. 実施日時および対象施設

## (1) 実施日時

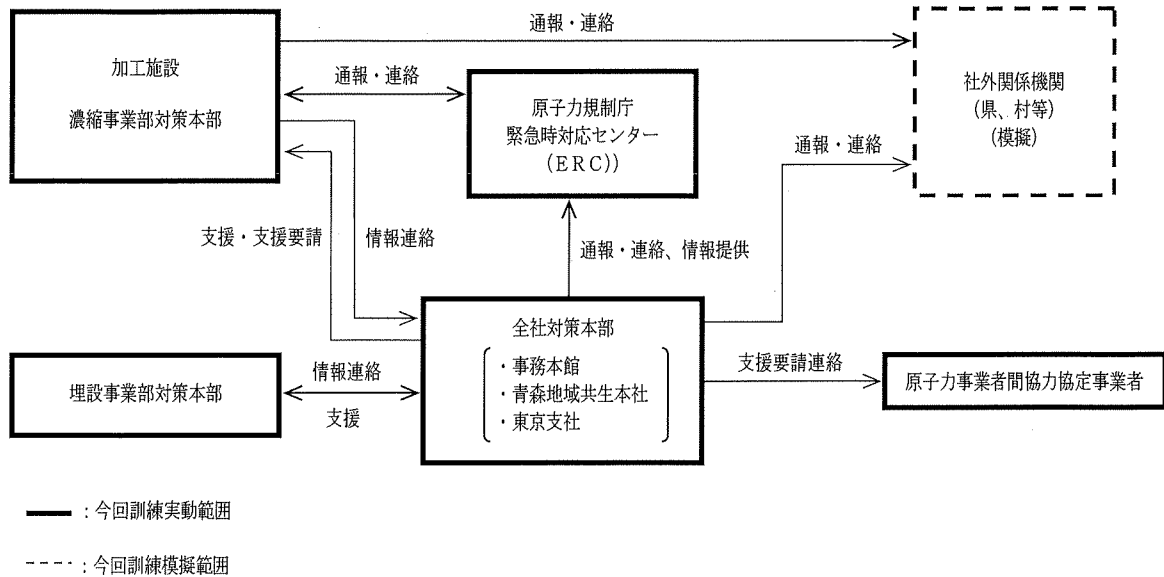
2021年12月21日（火） 9:30～12:00（予定）（反省会含む）

## (2) 対象施設

加工施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

濃縮事業部対策組織要員

### 4. 訓練の項目

総合訓練

### 5. 訓練内容

#### (1) 通報訓練

#### (2) 救護訓練

#### (3) モニタリング訓練

#### (4) 避難誘導訓練

#### (5) その他必要とする訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

b. 運転管理訓練

c. 放水訓練

d. 設備応急訓練

e. 消火訓練

f. 全社対策本部（ERC対応含む）との連携訓練

## 6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

原子力災害対策特別措置法（以下「原災法」という。）警戒事態該当事象を起因とし、現実的な発災事象を想定する。詳細は以下のとおり。

### （1）訓練形式

- ・プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。
- ・事故シナリオに基づき、緊急時対策所および現場との連携実働訓練にて行う。

### （2）施設運転状況設定

ウラン濃縮工場（加工施設）：操業運転中

### （3）事象想定

シナリオ非提示のため非公開

### （4）その他の場面設定

シナリオ非提示のため非公開

## 7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・訓練参加者（現場対応者含む）は、原則マスク着用とする。（ただし、防護具類着用時は除く。）
- ・緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でビニールなどによる仕切りを設置する。
- ・ERC対応ブース内は換気を実施するとともに、フェイスシールドを着用する。

## 8. 添付資料

1－（1）：加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー

以 上

## 2021年度 加工施設 防災訓練実施計画書 (第2部)

### 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、実施するものである。

また、本訓練は、「濃縮事業部における訓練に係る中長期計画(2021年度)」に基づき、原子力災害発生時において手順に基づく情報発信ができることについて確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下のとおり。

#### (1) 「確実な通報・連絡ができること」

達成目標：所定時間内で通報連絡できること

検証項目：①AL、SE、GE通報(FAX送信)は、通報文チェックツールを用いて、記載の誤記、漏れ等がなく速やかに通報できること

②25条報告を事象の進展に応じ、適切な間隔とタイミングで継続して実施できること

#### (2) 「事業部対策本部と全社対策本部間の情報共有ができること」

達成目標：EAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有できること

検証項目：適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、社内情報共有ツールによる情報共有ができること

### 2. 実施日時および対象施設

#### (1) 実施日時

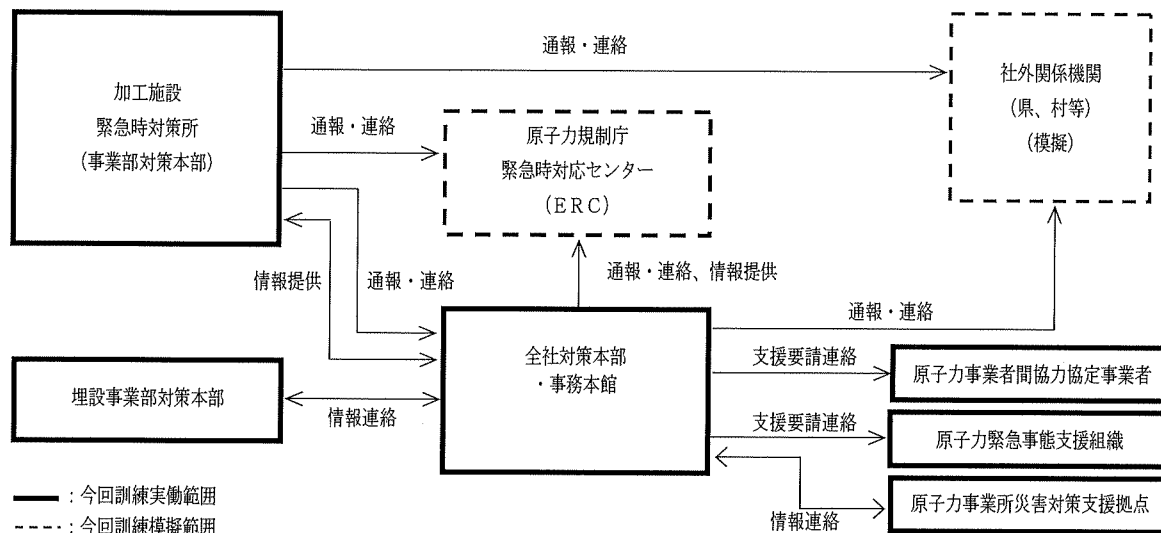
2021年12月21日(火) 13:30~15:00(反省会含む。)

#### (2) 対象施設

加工施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



(2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

(3) 訓練対象者

濃縮事業部対策本部 本部員 1 名、本部事務局 7 名、訓練コントローラー 3 名

4. 訓練の項目

個別訓練

5. 訓練内容

(1) 通報訓練

(2) その他必要と認める訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

原子力災害対策特別措置法（以下「原災法」という。）第 15 条事象に至る原子力災害を想定する。詳細は以下のとおり。

(1) 訓練形式

- ・プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。
- ・現場活動は実施せず、コントローラーが事故シナリオに基づき、必要な情報を状況付与する形式にて訓練を行う。

(2) 施設運転状況設定

ウラン濃縮工場（加工施設）：操業運転中

(3) 事象想定

シナリオ非提示のため非公開

7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・訓練参加者は、原則マスク着用とする。
- ・緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でビニールなどによる仕切りを設置する。

8. 添付資料

2 - (1) : 加工施設 防災訓練 第 2 部シナリオフロー

加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー (1/2)

時間	ERC対応アース	緊急時対策所	中央制御室	第1種管理区域 (モニタエリア~2号発回均質室)	第1種管理区域 (1号均質室)	第1種管理区域 (管理廃水処理室)	非管理区域 (補助建屋)	非管理区域 (給気室)	屋外
シナリオ非提示のため非公開									



加工施設 防災訓練 第1部シナリオフロー (2/2)

時間	ERC対応ブース	緊急時対策所	中央制御室	第1種管理区域 (モニタエリア~2号発回均質室)	第1種管理区域 (1号均質室)	第1種管理区域 (管理廃水処理室)	非管理区域 (補助建屋)	非管理区域 (給気室)	屋外
シナリオ非提示のため非公開									

目安時間	事象発生	緊急時対策所			
		ERC対応者 (実働)	対策本部 (実働)	本部事務局 (実働)	各対策班 (コントローラ)
シナリオ非提示のため非公開					

目安時間	事象発生	緊急時対策所			
		ERC対応者 (実動)	対策本部 (実働)	本部事務局 (実働)	各対策班 (コントローラ)
シナリオ非提示のため非公開					

2021年度 埋設事業部  
防災訓練実施計画書  
(案)

日本原燃株式会社  
埋 設 事 業 部

## 第1部 訓練概要

## 1. 訓練の目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画（2021年度～2024年度）」に基づき、加工施設との同時発災および現実的なシナリオ想定のもとで、情報発信能力および緊急時対応能力について確認する。

具体的な達成目標および検証項目は以下のとおり。

## (1) 「全社対策本部との情報共有ができること」

達成目標：全社対策本部に対して情報共有ツールを用いて、適宜情報共有できること

検証項目：①現場－緊急時対策所－全社対策本部間の情報共有が情報共有ツールによりタイムリーに共有できること

②情報フローに定めるとおりに、各要員が適切なタイミングで必要な情報を提供できること

## (2) 「現場と緊急時対策所が連携できること」

達成目標：手順に基づき、事象収束活動ができること

検証項目：現場と緊急時対策所と連携を図り、収束活動に必要な要員、資機材、時間で事象収束活動が実施できること

## 2. 実施日時および対象施設

## (1) 実施日時

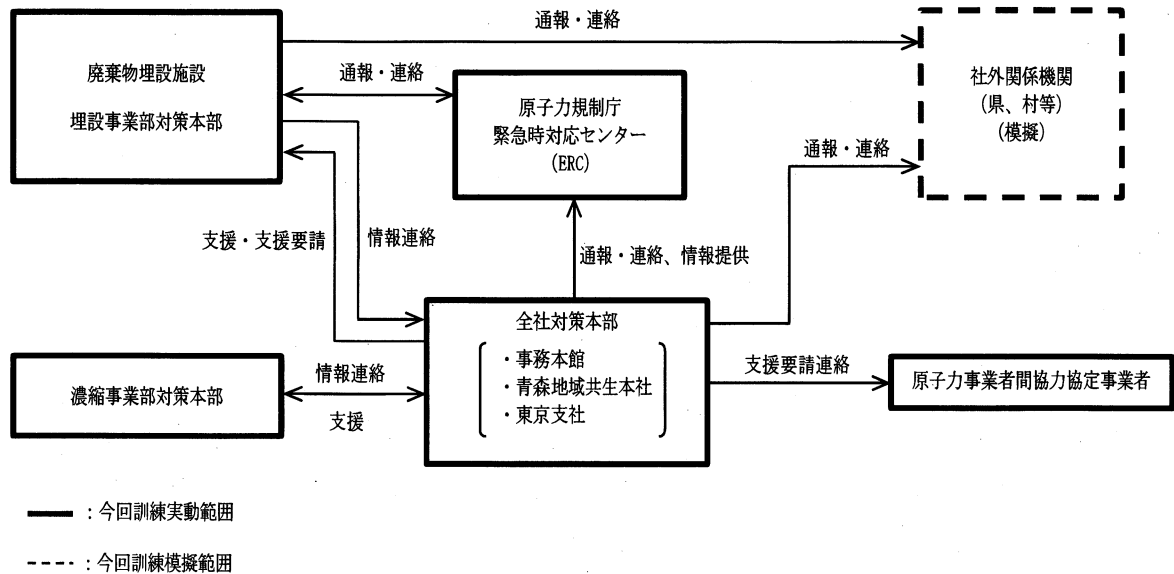
2021年12月21日（火）9：30 ～ 12：00（反省会含む）

## (2) 対象施設

廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

埋設事業部対策組織要員

### 4. 防災訓練の項目

総合訓練

### 5. 訓練内容

- (1) 通報訓練
- (2) 救護訓練
- (3) モニタリング訓練
- (4) 避難誘導訓練
- (5) その他必要と認める訓練
  - a. 対策本部対応訓練
  - b. 現場対策活動訓練
  - c. 全社対策本部等との連携訓練

## 6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

原子力災害対策特別措置法（以下「原災法」という。）警戒事態該当事象を起因とする現実的な発災事象を想定する。詳細は以下のとおり。

### (1) 訓練形式

- ・ 訓練は、プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。
- ・ 事故シナリオに基づき、緊急時対策所および現場活動との連携訓練にて行う。

シナリオ非提示のため非公開

## 7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者は、マスクを着用とする。
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り制限し、他要員は自席もしくは会議室等に対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でアクリル板などにより仕切りを設置する。

### 【添付資料】

1 - (1) 防災訓練第1部シナリオフロー

以 上

## 第2部訓練概要

## 1. 訓練の目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節 2」に基づき、実施するものである。

また、本訓練は、「埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画」に基づき、原子力災害発生時において手順に基づく情報発信ができることについて確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下のとおり。

## (1) 「確実な通報連絡ができること」

達成目標：手順に基づき、所定時間内に通報連絡が実施できること

検証項目：①適切な通報様式を用いて、所定時間内に通報・連絡ができること

②通報文チェックツールを用いて、通報文の発信前確認ができること

## (2) 「事業部対策本部と全社対策本部間の情報共有ができること」

達成目標：EAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有できること

検証項目：適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有ツールによる情報共有ができること

## 2. 実施日時および対象施設

## (1) 実施日時

2021年12月21日(火) 13:30~15:00(反省会含む)

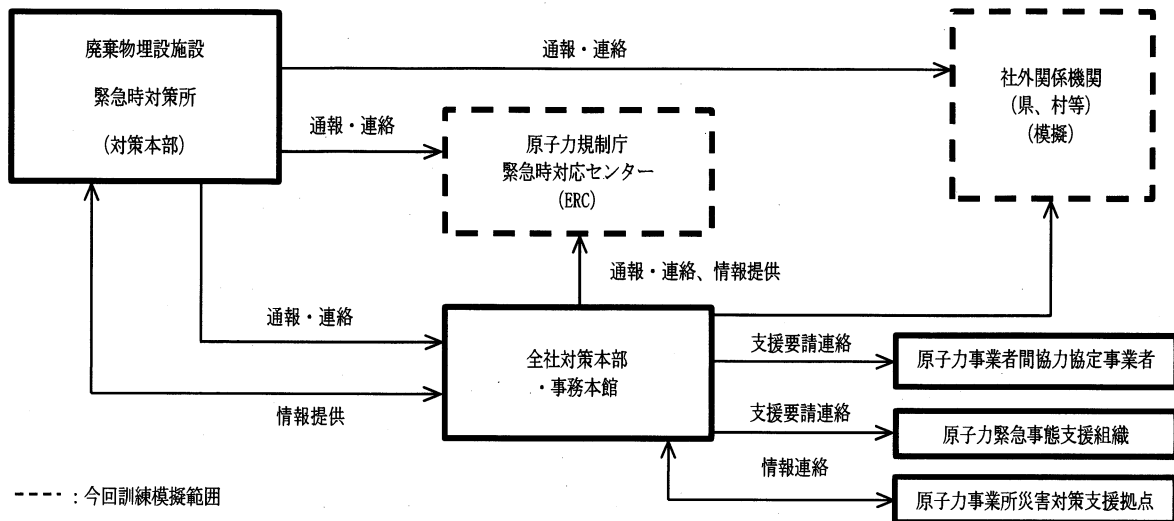
## (2) 対象施設

廃棄物埋設施設



### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

埋設事業部対策組織 本部員  
埋設事業部対策組織 本部事務局

### 4. 訓練の項目

個別訓練

### 5. 訓練内容

#### (1) 通報訓練

#### (2) その他必要と認める訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

### 6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

原災法第15条事象に至る原子力災害を想定する。詳細は以下のとおり。

#### (1) 訓練形式

- ・ 訓練は、プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。
- ・ 現場活動は実施せず、コントローラーが事故シナリオに基づき状況付与する形式にて訓練を行う。

シナリオ非提示のため非公開

シナリオ非提示のため非公開

#### 7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者は、マスクを着用とする。
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り制限し、他要員は自席もしくは会議室等に対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でアクリル板などにより仕切りを設置する。

#### 【添付資料】

2 - (1) 第2部訓練シナリオフロー

以 上

埋設事業部 防災訓練 第1部シナリオフロー

目次時間	対象学生	ERCプアス等 ERC対応者	対策本部	緊急時対策所 本部事務局、支社総管理班、巡回班、技術班 総務班、業務班	管理棟 制御室 巡回班	管理棟 管理区域内 巡回班	支社総管理班	管理棟 管理区域外 総務班	巡回班	施設名 巡回班	目次時間
9:30											9:30
9:34											
9:40											9:40
9:50											9:50
10:00											10:00
10:10											10:10

シナリオ非提示のため非公開

埋設事業部 防災訓練 第1部シナリオフロー

自安時間	専修学生	ERCB等 ERCB担当者	災害時対応所 本部事務局、放射線管理班、復旧班、保健班、総務班、教職班	管理課、制御室 復旧班	管理課、管理区域内 復旧班	放射線管理班	管理課、管理区外 復旧班	機材班	自安時間
10:20									10:20
10:30									10:30
10:40									10:40
10:50									10:50
11:00									11:00
11:10									11:10

シナリオ非提示のため非公開

# 埋設事業部 防災訓練 第2部シナリオフロー

添付資料2 - (1)

目安時間	事象発生	H1/即応センター	緊急時対策所		
		ERC対応者 (実動)	対策本部 (実動)	本部事務局 (実動)	各機能班 (コントローラ)
13:15					
13:20					
13:30					
13:35					
13:40					

シナリオ非提示のため非公開

# 埋設事業部 防災訓練 第2部シナリオフロー

添付資料2 - (1)

目安時間	事象発生	H1/即応センター	緊急時対策所		
		ERC対応者 (実動)	対策本部 (実動)	本部事務局 (実動)	各機能班 (コントロール)
13:45	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">シナリオ非提示のため非公開</p> </div>				
13:50					
13:55					
14:00					
14:05					
14:10					

# 埋設事業部 防災訓練 第2部シナリオフロー

添付資料2 - (1)

目安時間	事象発生	H1/即応センター	緊急時対策所		
		ERC対応者 (実動)	対策本部 (実動)	本部事務局 (実動)	各機能班 (コントロール)
14:15					
14:20					
14:25					

シナリオ非提示のため非公開

2021年度 全社対策本部  
原子力防災訓練（総合訓練） 実施計画書（その2）  
（案）

日本原燃株式会社  
安全・品質本部



## 1. 訓練の目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」および「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「全社対策本部 原子力防災訓練中期計画」に基づき、「前年度訓練課題の確実な改善」をねらいとし、E R Cプラント班との情報共有および事業部・全社の連携強化の課題の改善・検証を行い、さらなる原子力災害に対する緊急時対応能力の向上を図る。

具体的な達成目標、検証項目は以下の通り。

### (1) 「全社対策本部とE R Cとの情報共有、通報・連絡」

達成目標：E R Cプラント班との間で、あらかじめ整備した情報フローに基づき、情報共有のためのツール等を活用して、事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況およびE A L判断根拠について、タイムリーにかつ確実に情報共有ができること。

検証項目：①全社対策本部は、C O P・戦略シート等を活用して、事故・プラント状況・進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況について、情報の優先度に応じた目標時間内にE R Cプラント班と情報共有していること。

②10条確認および15条認定会議において、E A L判断根拠、発生事象・進展予測・事故収束対応の説明を適切にできること。

### (2) 「事業部・全社の連携強化」

達成目標：全社対策本部は、事業部対策本部から情報を入手し、全社対策本部内で共有できること。

検証項目：①全社対策本部の各機能班は、それぞれの任務を果たしていること。

②全社対策本部は、事業部対策本部からの事故・プラントの状況、進展予測、事故収束対応戦略などの情報について、情報共有データベース、音声共有システムなどの情報共有ツールを用いて入手し、全社対策本部内で共有できること。

## 2. 実施日時および対象施設

### (1) 実施日時

2021年12月21日（火）9：30～15：00（予定）（反省会含む）

・第1部： 9：30～12：00

・第2部：13：30～15：00

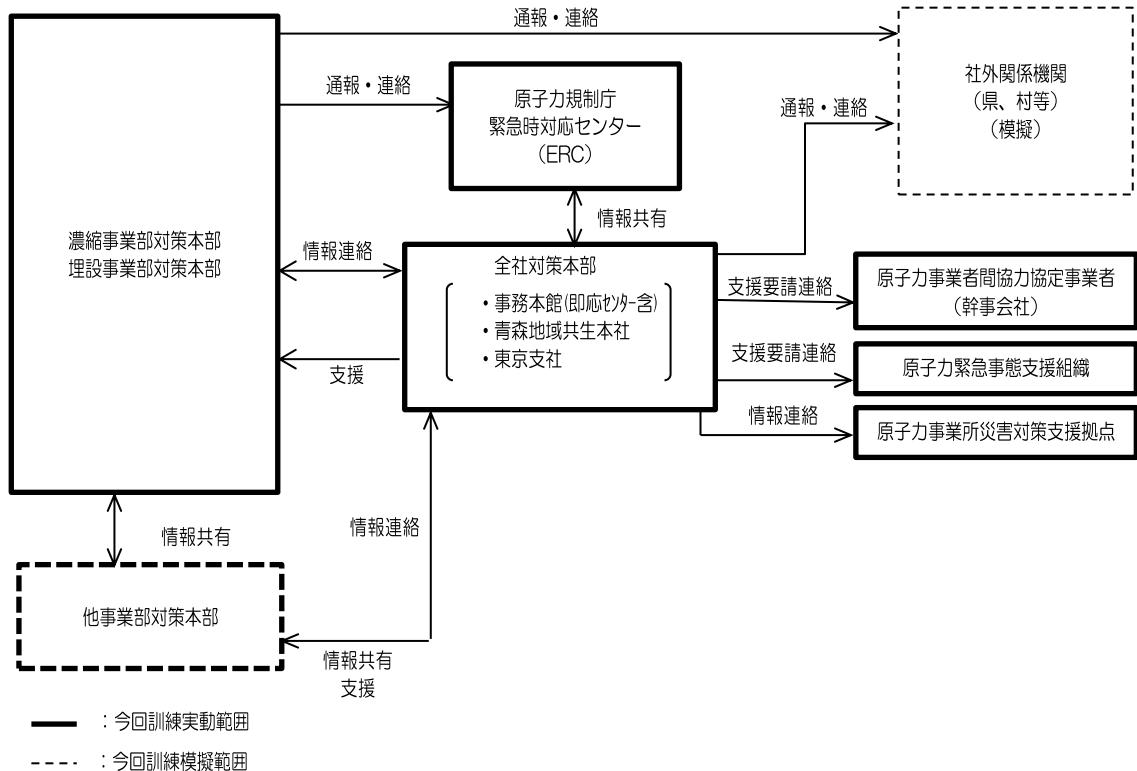
### (2) 対象施設

a. 加工施設

b. 廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

全社対策本部室 (ERC 対応ブースを含む)、原子力事業所災害対策支援拠点、模擬記者会見場の各拠点に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

全社対策本部要員

### 4. 防災訓練の項目

#### (1) その他必要と認める訓練

- a. 全社対策本部運営訓練 (第 1 部および第 2 部)
- b. ERC 対応訓練 (第 1 部および第 2 部)
- c. 原子力事業所災害対策支援拠点設営訓練 (第 2 部)
- d. 広報対応訓練 (第 2 部)

## 5. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

### (1) 訓練形式

訓練は、プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。

### (2) 事象想定

以下の事象を想定する。シナリオフローを添付資料(1)に示す。

- ・第1部：原子力災害対策特別措置法（以下「原災法」という。）警戒事態該当事象を起因とし、現実的な発災事象を想定する。
- ・第2部：原災法第15条事象に至る原子力災害を想定する。

## 6. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・訓練参加者(現場対応者含む)は、「検温の実施」および「マスク（または、マウスシールド）の着用」とする。
- ・全社対策本部室内で活動する要員は可能な限り人数を制限するものとし、他要員は自席もしくは会議室等に対応する。
- ・全社対策本部室内は、換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でアクリル板（または、ビニールシート）を設置する。

## 7. 添付資料

- (1) 全社対策本部 原子力防災訓練 シナリオフローおよび検証ポイント

以 上

○第1部訓練

目安時間	濃縮事業部	埋設事業部	全社対策本部				検証事項
			全社対策本部室	即応センター (ERC対応ブース)	オフサイトセンター	後方支援拠点	
シナリオ非提示のため非公開							

○第2部訓練

目安時間	濃縮事業部	埋設事業部	全社対策本部				検証事項
			全社対策本部室	即応センター (H1)	オフサイトセンター	後方支援拠点	
<p>シナリオ非提示のため非公開</p>							